



▲朝焼けの岩手山

撮影者：滝沢市在住 畠山 昇氏



定価 1部60円

-発行所-

(公財)岩手県消防協会

郵便番号 020-0021

盛岡市中央通3丁目

7番22号

電話 019 (654) 3991

FAX 019 (654) 3992

E-mail: isk@iwate-

shokyo.jp

<https://iwate-shokyo.jp/>

印刷所

盛岡市本町通2丁目

河北印刷株式会社

「令和六年度全国統一防火標語」
守りたい 未来があるから 火の用心

〔この機関紙は、日本消防協会からの援助により発行しているものです〕

年頭の挨拶

岩手県知事 達 増 拓 也

年頭に当たり、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様に御挨拶を申し上げます。



貴協会、消防職員及び消防団員の皆様には、日頃から地域の安全・安心の確保のために多大な御貢献をいただいております。心から敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発しており、昨年一月に発生した能登半島地震や、八月の台風第五号、九月の奥能登豪雨などの自然災害の発生により、各地で土砂災害や浸水等の被害が生じたところです。

火災現場だけではなく、こうした自然災害時においても、消防の役割が今まで以上に求められる中、消防職員、消防団員の皆様におかれましては、人命や財産を守るため、懸命に活動されているところであり、安全に安心して暮らせる社会の実現を願う県民の消防に寄せる期待は、一層大きいものとなっております。

県では、令和五年度から令和八年度までを計画期間とする「いわて県民計画(2019～2028)」第2期アクションプラン・政策推進プランを策定し、今後四年間に取組を強化すべき四つの重点項目の一つに「安全・安心な地域づくりの推進」を掲げました。自助・共助・公助に基づく防災体制づくりに向けて、県民一人一人の

防災意識の向上や、地域コミュニティにおける住民同士が助け合える体制の強化、国・県・市町村・防災機関が連携した防災・減災体制の整備などの取組を推進していきます。

その中でも、地域防災力の中核的な役割を果たす重要な存在である消防団員の加入促進を図るため、これまで消防団活動の充実強化につながる取組を支援してきたほか、特定の活動のみに参加する機能別団員制度の導入促進や、企業等の消防団活動への理解を促し、被用者の消防団への加入につなげるための「消防団協力事業者表示制度」、団員を応援する「いわて消防団応援の店」の登録の推進などに取り組んでいます。

また、女性消防職団員の採用・入団の促進や女性消防職員の活躍・キャリア形成支援などにより、消防の現場における男女共同参画の推進にも、引き続き取り組んでまいりますので、皆様には、今後ともなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますこと、また、公益財団法人岩手県消防協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



(公財) 岩手県消防協会
会長
佐藤 隆 士

令和七年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防職員並びに消防団員の皆様方には、常日頃から地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災はもとよりあらゆる災害に対し、献身的に職務に精励されておられますことに心から敬意と感謝を申し上げます。今日の消防は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、

歴史・世界など巾広く
承知しながら、
地域の安全を

―令和七年新春ごあいさつ―



(公財) 日本消防協会
会長
秋本 敏 文

新年おめでとうございます。今年がどのような年になるか、最近の災害の様子などを見ておりますと、気がかりになるかと思いますが、岩手県各地、無事平穏でありますようお願いいたします。

岩手県では、東日本大震災、大規模な山火事などこれまでいろいろな災害を体験しておられ、その都度、県下の消防職員、消防団員、女性防火クラブなど消防関係の皆様は、県民の皆様の生命財産を守るため全力を尽くしてこられました。深く感謝申しあげ、心から

地震や台風などの自然災害への対応など広範囲にわたり、地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしているところであります。

このような中で、繰り返しされる災害に対して地域住民の防災への意識は高まるとともに、消防への期待もますます大きなものとなっております。

さて、令和六年の新年早々に発生した能登半島地震では、家屋の倒壊や津波などにより多くの死傷者や被災者が生じるなど甚大な被害となりました。さらには、九月には大雨による大規模な土砂災害が発生し、被災地に容赦なく自然の猛威を振るい、自然災害の恐ろしさを痛感したところです。

近年では、全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生するとともに、近い将来、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震の発生も危惧されております。

敬意を表します。

近年、地球環境の変化を背景に、これまでと異なる、大規模な災害が各地で発生するなど災害の様相が大きく変わり、また、地域社会の様子も少子化、人口減など変わってまいりました。そのような中で、消防の使命を果たしていくためには、消防団員の確保など総合的な人的対応体制の充実、新たな技術、素材を含めた装備の改善充実、さらにはそれぞれの地域の実情に応じた多様な防災基盤の整備などが必要で、気象状況、災害被害、対応体制の実態等の広範な情報の把握、活用も必要です。また、地域の皆さん総参加総活躍の地域防災体制の確保、日頃からの訓練、団結も大事です。そして、その地域の自然的社会的諸状況に応じた災害の想定、その時の対応について検討しておくなど、本当にいろいろなことが必要でしょう。このように考えてまいりますと、消防関係の皆様のご苦心ご苦労は益々大きくなってまいります。

日本消防協会は微力ではありますが、多くの皆様の

私ども消防団は、地域防災力の充実強化をより一層推進するため、更に団結を強固にし、消防防災体制づくりに邁進しなければならないと考えております。

当協会といたしましては、消防職員並びに消防団員の福利厚生事業の充実を図りつつ、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の安全・安心の確保のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

どうか皆様におかれましても、心新たに安全で安心な地域づくりのため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が平穏で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

ご協力を頂き建設を進めてまいりました新しい日本消防会館が、昨年、遂に完成いたしました。殉職された方々の慰霊碑、一〇〇〇席のホールのほか、日本消防防災情報センターを設けました。この情報センターには、これまでの災害体験、消防の活動等の映像を展示して、これからの消防防災体制のあり方を考える素材を提供します。開館時の大きな画面には一〇〇年前の関東大震災、三十年前の阪神淡路大震災の状況を表示しています。将来は東日本大震災の時の状況などを展示し、海外の情報ももっと充実させるなどいろいろ考えていかなければなりません。そのような努力を重ねて、日本消防の一層の発展に貢献できるようにすることが、この新会館建設にご協力頂いた皆様への感謝として必要だと思っています。

県下の無事平穏、消防関係の皆様のお元氣なご活躍を心からお祈りして新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の辞

総務省消防庁

長官

池田 達雄



令和七年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係業務などに御尽力いただいております。心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年は、元日に発生した石川県能登地方を震源とする地震、五月からの大雨・台風による災害、八月に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震、九月二十日からの大雨による能登半島地方での災害など、日本各地で災害が相次いでおり、多くの方々が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況によっては県内外の消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて国民の生命、身体及び財産を守るため最前線での活動等に当たっていただきました。改めて皆様の御活躍・御尽力に敬意を表

年頭の御挨拶

岩手県消防長会

会長

瀬川 浩樹



令和七年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方には、火災はもとより、各種災害から地域住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず献身的に御尽力されておりますことに、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、令和六年能登半島地震をはじめ、台風や集中豪雨などの住民生活に大きな

しますとともに、心から御礼申し上げます。

また、救急搬送困難件数は高い水準で推移しており、令和六年は記録的な猛暑のため、熱中症患者の搬送も過去最多となりました。そうした過酷な救急の現場においても、日々、献身的に御対応いただいておりますことに感謝申し上げます。

近年、災害の激甚化・頻発化や救急業務の逼迫が顕著となっており、「南海トラフ地震」、「首都直下地震」などの発生が危惧される中、国民の生命、身体及び財産を守る消防の果たす役割は、より一層重要なものとなっております。

消防庁では、国民の皆様が引き続き安心して暮らせるように、緊急消防援助隊や常備消防、消防団の充実強化をはじめ、消防防災分野におけるDXの推進、科学技術の活用などを柱とし、消防防災力の強化に取り組みます。

とりわけ、大規模災害対応の要である緊急消防援助隊については、消防組織法に規定されてから二十年以上が経過し、今後発生が懸念される「南海トラフ地震」等の大規模災害に備えて、大型車両での通行が困難な状況でも、被災地に迅速に進出し活動を開始できるように、小型・軽量化された車両や資機材を整備するとともに、地震や津波発生時の大規模火災現場において、活動隊員の安全を確保した消防活動を行うため、無人走行放水ロボット等の整備を計画的に進めてまいります。また、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に

影響を及ぼす自然災害が相次いで発生しているほか、全国各地で発生する住宅火災などにより、多くの尊い人命と貴重な財産が失われました。

また、高齢化の進展や感染症の流行、熱中症等を背景に、より一層の救急需要の増大が懸念されるなど、消防・防災機関の在り方・ニーズも変化しつつあり、住民の安全・安心に対する我々消防に寄せられる期待は、ますます大きくなってまいります。

このような中、地域住民が安心して暮らせる災害に強い社会の実現に向け、激甚化する土砂・風水害や切迫する南海トラフ地震などの大規模災害を見据えた緊急消防援助隊の充実強化、地域住民の生命、身体及び財産を災害から保護する地域防災力の中核となる消防団、自主防災組織等の充実強化、防火対象物、危険物施設等における火災や事故を防止する火災予防対策の推進、女性消防吏員の更なる活躍推進、消防団への女性、若者等の加入促進、消防防災分野におけるDXの推進

関する法律」の制定から十年が経過しております。団員減少が危機的な状況にある消防団については、引き続き、装備や資機材の充実強化に取り組みとともに、モデル事業による支援、消防団への更なる入団促進を図るためのマニュアルの作成、自治体等と連携した広報などを行い、消防団員の確保に全力を挙げてまいります。さらに、消防防災分野におけるDXについては、マイナンバーカードを活用した救急業務の円滑化、いわゆる「マイナ救急」の全国展開をはじめとし、消防指令システムのインターフェースの標準化・消防業務システムのクラウド化や消防団へのドローン配備・講習の実施などを推進してまいります。

加えて、能登半島地震の経験等を踏まえつつ、消防分野における新技術の研究開発等を強化してまいります。昨年五月には、北朝鮮から発射された弾道ミサイル等により、国民保護情報にアラートで送信されました。消防庁では、地方公共団体と連携した住民避難訓練の実施や避難施設の指定促進に取り組むとともに、Jアラートの新システムへの更改を進め、より一層国民保護体制の整備に万全を期してまいります。

皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

など、様々な対応が求められている状況にあります。

私達消防に携わる者としてしましては、日頃から地域に密着し、火災や大規模自然災害が発生した際に大きな役割を果たす消防団員の確保をはじめ、これまで以上に迅速かつ的確な災害対応を可能とする広域的な応援体制の整備など、今後ともあらゆる災害に即応できる消防防災体制の充実を図り、地域住民の信頼と負託に応える必要があります。

皆様方におかれましては、県民が安心して安全に暮らせる災害に強い街づくりのため、誇り高い消防の使命の下、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人岩手県消防協会の益々の御発展と皆様方の御健勝と御多幸、そして、本年が災害のない平穏無事な一年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

令和六年 秋の叙勲受章者伝達式

令和六年秋の叙勲が十一月三日付で発令され、全国の三、九八七名に授与されました。

そのうち、消防関係では六一九名が受章し、十一月十三日(水)、ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)において伝達式が挙行されました。

本県からは三十名が受章の榮に浴され、その内伝達式には九名の方々が出席されました。

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会福祉の増進に寄与された方々であり、榮えある受章を心からお祝いを申し上げます。



令和6年秋の叙勲

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| *瑞宝小綬章 | *長岡利明氏(元盛岡地区広域消防組合消防正監) |
| *瑞宝双光章 | *越田政美氏(元大槌町消防団団長) |
| *瑞宝単光章 | *式又文雄氏(元野田村消防団団長) |
| *青山秀樹氏(元雫石町消防団副団長) | |
| *伊藤壽雄氏(元宮古市消防団副団長) | |
| *井上徳治氏(元八幡平市消防団副団長) | |
| *岩淵新助氏(元一関市消防団副団長) | |
| *岩淵志氏(元平泉町消防団副団長) | |
| *梅村昭親氏(元盛岡市消防団副団長) | |
| *大下悦保氏(元久慈市消防団副団長) | |
| *太田薫氏(元盛岡市消防団副団長) | |
| *大谷地房男氏(元軽米町消防団副団長) | |
| *川原一文氏(元紫波町消防団副団長) | |
| *菊池悟氏(元遠野市消防団副団長) | |
| *齊藤博氏(元釜石市消防団副団長) | |
| *佐藤樹氏(元紫波町消防団副団長) | |
| *鈴木清一氏(元湯田町消防団副団長) | |
| *鈴木雄氏(元奥州市消防団副団長) | |
| *高橋雄氏(元盛岡市消防団副団長) | |
| *高橋美氏(元雫石町消防団副団長) | |
| *高橋孝氏(元平泉町消防団副団長) | |
| *千葉孝氏(元釜石市消防団副団長) | |
| *藤倉高志氏(元滝沢村消防団副団長) | |
| *太田孝太郎氏(元一関市消防団副団長) | |
| *皆川孝太郎氏(元一関市消防団副団長) | |
| *女鹿廣氏(元紫波町消防団副団長) | |
| *吉田稔氏(元洋野町消防団副団長) | |
| *四役利治氏(元久慈市消防団副団長) | |

危険業務従事者叙勲 受章者伝達式

第四十三回危

険業務従事者叙

勲が十一月三日

付で発令され

全国の三、三五九

名に授与されま

した。そのうち、

危険性の高い業

務に従事した消

防職員を対象と

した「第四十三

回危険業務従事

者叙勲」伝達式

が十一月十二日(火)、ニッショーホール(東京

都港区虎ノ門)において伝達式が挙行されました。



第43回危険業務従事者叙勲

危険業務従事者叙勲(消防関係)受章者は六三七名で、本県からは八名が受章の榮に浴され、伝達式には四名の方々が出席されました。

榮えある受章を心からお祝い申し上げます。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| *瑞宝双光章 | *金田守雄氏(元一関市消防司令長) |
| *熊谷市氏(元盛岡地区広域消防組合消防司令長) | |
| *佐々木英千代氏(元花巻市消防司令長) | |
| *中村久之氏(元盛岡地区広域消防組合消防司令長) | |
| *瑞宝単光章 | *菊池茂氏(元遠野市消防司令) |
| *小岩紀夫氏(元一関市消防司令) | |
| *高屋敷和幸氏(元久慈広域連合消防司令) | |
| *照井美弦氏(元花巻市消防司令) | |

第六十六回 岩手県民の警察官・消防職団員表彰

雫石町消防団

上野 忠一 分団長が

受章される

読売新聞盛岡支局とテレビ岩手の主催による第六十六回「岩手県民の警察官・消防職団員」表彰式が去る十一月七日(木)午後一時三十分から盛岡市民文化ホール(小ホール)において挙行されました。

本年度の「県民の警察官表彰」には、花巻警察署小山田駐在所主任山口洋巡查部長が、「県民の消防職団員表彰」には、雫石町消防団上野忠一

分団長が受章の栄に浴されました。

表彰式は、選考委員長から選考経過が報告され、来賓祝辞、主催者挨拶の後、受章者それぞれに對して表彰状及び記章が贈呈されました。



受章者の言葉を述べる上野忠一分団長

自治体消防75周年記念大会

自治体消防75周年記念大会



自治体消防七十五周年記念大会が十一月二十九日(金)日本消防会館「ニッショーホール」(東京都港区虎ノ門)において、天皇陛下のご臨席を仰ぎ挙行されました。

今年度は、自治体消防発足から七十五周年を迎える年であり、これを記念して我が国の消防の発展の歩みを振り返るとともに、新たな災害環境に

直面するなか、国民の皆様の安全向上に貢献する日本消防の一層の発展を目指すことを趣旨に開催されたものであります。

大会には、全国の消防関係者約八百名が参加し、本県の参加者は、佐藤協会長、内館副会長、小谷地業務執行理事、岩手県女性消防連絡協議会千葉会長、上平事務局長の五名が参加いたしました。



次第

黙 禱

第一部 記念式典

- (1) 開式の辞
- (2) 国歌斉唱
- (3) 式 辞
- (4) 天皇陛下おことば
- (5) 祝 辞
- (6) 表彰及び感謝状贈呈
- (7) 閉式の辞

第二部 記念講演及びシンポジウム

(1) 記念講演

- 講演①「日本消防—これまでとこれから—」
神戸大学名誉教授 室崎 益輝氏
- 講演②「日本消防の歴史」
東京大学大学院人文社会科学系研究科・文学部教授 鈴木 淳氏

(2) シンポジウム

- 「これからの日本消防—さらなる変化への対応—」
コーディネーター 秋本敏文 日本消防協会会長
- パネリスト…小谷 敦 総務省消防庁国民保護・防災部長
室崎益輝 神戸大学名誉教授

参加者 (約八百名)

- 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官、総務大臣、関係国会議員、政府関係者、地方自治体関係者、消防関係者
- 立谷秀清 相馬市長・前全国市長会会長
大江秀敏 元全国消防長会会長
植田和生 元岩手県消防団長・前滋賀県消防協会会長

會長	一関市消防団長	佐藤 隆士
副会長	山田町消防団長	内館 秋雄
業務執行理事	雫石町消防団長	小谷地 昇
〃	大船渡市消防団長	大田 昌広
〃	北上市消防団長	高橋 信博
〃	九戸村消防団長	尾友 勇一
消防団長	盛岡市消防団長	田沼 徳一
〃	宮古市消防団長	佐々木重勝
〃	大船渡市消防団長	大田 昌広
〃	花巻市消防団長	高橋 信博
〃	北上市消防団長	高橋 信博
〃	久慈市消防団長	馬渡 正博
〃	遠野市消防団長	阿部 和美
〃	一関市消防団長	佐藤 隆士
〃	陸前高田市消防団長	大坂 司
〃	釜石市消防団長	坂本 晃
〃	二戸市消防団長	五日市亮一
〃	八幡平市消防団長	安保 義光
〃	奥州市消防団長	小野寺 満
〃	滝沢市消防団長	佐藤 桂
〃	雫石町消防団長	小谷地 昇
〃	葛巻町消防団長	向川原徳志
〃	岩手町消防団長	府金 義明
〃	紫波町消防団長	阿部 久克
〃	矢巾町消防団長	谷村 謙一
〃	西和賀町消防団長	和泉 哲男

消防団長	金ヶ崎町消防団長	千葉 正男
〃	平泉町消防団長	佐々木和信
〃	住田町消防団長	菊池 実行
〃	大槌町消防団長	山崎 幸雄
〃	山田町消防団長	内舘 秋雄
〃	岩泉町消防団長	八重樫 仁
〃	田野畑村消防団長	工藤 茂益
〃	普代村消防団長	三船 隆久
〃	軽米町消防団長	小野寺祐治
〃	野田村消防団長	明内 永一
〃	九戸村消防団長	尾友 勇一
〃	洋野町消防団長	大入 一弘
〃	一戸町消防団長	齊藤 和彦
消防長	盛岡地区広域消防組合消防長	瀨川 浩樹
〃	宮古地区広域行政組合消防長	畠山 毅
〃	一関市消防長	阿部 茂
〃	釜石大槌地区行政事務組合消防長	駒林 博之
〃	奥州金ヶ崎行政事務組合消防長	千葉 典弘
〃	久慈広域連合消防長	中屋敷 亨
〃	花巻市消防長	八重樫晴彦
〃	北上地区消防組合消防長	菊池 洋幸
〃	大船渡地区消防組合消防長	菅野 賢
〃	遠野市消防長	菊池 和弘
〃	陸前高田市消防長	菅野 泰浩
〃	二戸地区広域行政事務組合消防長	深田 泰之



謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

(公財)岩手県消防協会

営業品目

日本機械消防自動車
ジェットホース
各種消防用被服 消防団員着褲
ホース洗浄機・乾燥機

トーハツ小型消防ポンプ
ジェットシューター
FV防火衣・ゴアテックス雨衣
屯所用ホース乾燥塔

操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ2基真空ポンプ付

実感してください！操法大会最適ホース。

 伊豆消防-1号コンパネツターズ

創業
昭和22年

互光商事株式會社

代表取締役 玉川 康介

本 社

茨城郡矢巾町甲富沢11-501-14

☎ 019-639-0505 (代)

URL : <https://www.goko-shoji.co.jp>

営業品目

シバウラ小型消防ポンプ、日本機械消防自動車
ホース乾燥塔 NAホスポール
操法用ホース、消防・防災用品及被服

県知事許可（般-2）第6269号

有限会社 文林商会

代表取締役 吉田 良一

本社／一関市滝沢字鶴ヶ沢7-59
TEL 0191-21-1119（代）

盛岡営業所／盛岡市好摩字夏間木83-122
TEL 019-682-0800

三陸営業所／上閉伊郡大槌町上町2-12
TEL 0193-42-8090

消防・防災のことなら

生花と植物、
防災のことなら

SHOEI®

松栄商事株式会社

<https://shoeishoji.com>

【本社】

〒000-0081
盛岡市本町13-27
電話 019-6254364



これからも
地域に安心を

株式会社 岩野商会 盛岡市本宮1丁目17番6号
TEL.019-656-4753

消防防災トータルサポート

株式会社

岩手総合商事

代表取締役 橋本 智和

〒029-0132

一関市滝沢字草刈場135-20

TEL:0191-48-4433

FAX:0191-48-4432